

# ご存じですか！文化財

7

## 「聖観音菩薩坐像」

市指定有形文化財  
昭和34年6月16日指定



問合せ  
生涯学習課  
(☎内線 352)

### 地図



所在地 南大桑3342

今回ご紹介する文化財は、大桑小学校西隣にある乗藏院の「聖観音菩薩坐像」です。この聖観音菩薩坐像は乗藏院会館内に安置されており、元禄12(1699)年に当所の門井与右衛門が、先祖の追善供養のために寄進したものです。

この像は、寄木造りの玉眼入りで金泥が施されており、江戸時代初期の作と思われます。美しい透かし彫りの宝冠をいただいた顔は、端正、円満な表情を浮かべ、肩から右端に条帛をかけ、両手首に釧(飾り輪)をはめ、胸には瓔珞(宝石などをつ

らねて編んだもの)を垂らしています。左手に蓮華を持ち、右手に印を結び結跏趺坐(座禅の様子)をしているこの仏像は何者にも得がたい崇高なものです。

「観音様」で親しまれているこの仏像は、三十三の姿に変化し、人々の悩み苦しみの声を聴き、苦しみのありさまをしっかりと見届けて、そのような人々を全て救うという、崇高で偉大な仏像です。

乗藏院の観音様を拝観いたしますと、慌しい我々の日常生活から離れ、ひとときの心の安らぎが得られることでしょう。



紹介者 綿貫 忠夫さん(南大桑)